

心の栄養剤(特別版) 「震災のいい話」

- ・ある自衛隊員が言った。「被災地で炊き出しをした際、たとえ余っても自衛隊員は絶対食べないで缶詰の冷たいご飯を 食べます。被災地の人用にお風呂を用意しても自衛隊員は入りません。そして出来るすべての事をやったらひっそりと帰る。それが自衛隊です。」自衛隊は日本の誇りです。
- ・NHKの男性アナウンサーが被災状況や現況を淡々と読み上げる中、「ストレスで母乳が出なくなった母親が夜通しスーパーの開店待ちの列に並んでミルクが手に入った」と紹介後、絶句、沈黙が流れ、放送事故のようになった。すぐに立ち直ったけど泣いているのがわかった。目頭が熱くなった。
- ・さっき、友達の薬局に高校生くらいの若い男の子がトイレットペーパーを返品しに来たとのこと。聞いたら、「親が昨日2つも買ってきて、みっともないと思って返しにきた」んだって。いまどきの高校生の口からみっともないって言葉がでてきたのでびっくりしたって言ってた。日本の未来は明るいね。
- ・ご他聞に漏れず職場でも募金箱を設置させて頂いたのだが、買い物に来た子供たちが自分の僅かな小遣いの中から、当たり前のようにお金を募金箱に入れてくれるのを目の当たりにし、めちゃめちゃ感動した…。決して褒めてもらいたいわけでなく、本当に自然に、本当に純粋な姿だったことに心が震えた。
- ・息子が小学校で集められている募金に自分のためてきたおこづかいの1000円をにぎりしめて学校に行った。そして今日は放送当番なので元気が出る曲をかけると言って「ちっぼけな勇氣」を持って行った。息子を誇りに思う。未来を背負うこの子達の気持ちがある限り日本は大丈夫だと思ったら涙が出た。
- ・終夜運転のメトロの駅員に、大変ですねって声かけたら、笑顔で、こんな時ですから！だって。捨てたもんじゃないね、感動した
- ・外国人から見た地震災害の反応。物が散乱しているスーパーで、落ちているものを律儀に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。本当だろう、この話。すごいよ日本。
- ・千葉の友達から。避難所でおじいさんが「これからどうなるんだろう」と漏らした時、横に居た高校生くらいの男の子が「大丈夫、大人になったら僕らが絶対元に戻します」って背中さすって言ってたらしい。大丈夫、未来あるよ。
- ・ディズニーランドでは、ショップのお菓子なども配給された。ちょっと派手目な女子高生たちが必要以上にたくさんもらって「何だ？」って一瞬思ったけど、その後その子たちが、避難所の子供たちにお菓子を配っていたところ見て感動。子供連れは動けない状況だったから、本当にありがたい心配りだった
- ・募金箱の前にて幼稚園位の男の子と母親の会話。
母「貯めてたのに本当にいいの？」
子「3DS我慢する。これで地震の人の家建てる。」と言いお年玉袋から5,000円を寄付。
母「偉いね。地震の人、これで寒くなくなるね。」男の子思わず号泣。
後ろにいた私、大号泣
- ・旦那さんが自衛官の友人より。
以前息子さんが「パパは戦争がお仕事？」と泣ながら聞いてきた事があったそうだ。
誰かの心ない言葉に傷付いたんだろう。
今、息子さんは毎日TV画面に向かい「パパ頑張れ、パパのお友だち頑張れ！」と叫んでるって。
「僕も自衛隊になる！」って。...通勤中に号泣
- ・父が明日福島原発の応援に派遣されます。
半年後定年を迎える父が自ら 志願したと聞き涙が出そうになりました
「今の対応次第で原発の未来が変わる。使命感を持っていく」
家では頼りなく感じる父ですが私は今日程誇りに思ったことはありません。
無事の帰宅を祈ります。
- ・家屋に取り残され、42時間ぶりに救出された高齢の男性の映像。
「チリ津波も経験してきたから、だいじょぶです。また、再建しましょう」と笑顔で答えていた。
恵まれた環境にあぐらをかいてきたことに直面しなきゃって思った。
私たちが、これから何をすることが大事
- ・避難所で、4人家族なのに「分け合って食べます」と3つしかおにぎりをもらわない人を見た。
凍えるほど寒いのに、毛布を譲り合う人を見た。
きちんと一列に並んで、順番を守って物資を受け取る姿に、日本人の誇りを見た